

【3-1 快適で魅力的な都市空間の創造】

関連するSDGs17の目標



4年間で実現したい姿		大竹駅の整備や小方地区のまちづくり事業の進捗など、にぎわいや暮らしの拠点づくりが進み、「持続可能で魅力的なまちづくり」が進められています。					
KPI (重要業績評価指標)	【KPIの考え方】 計画期間内での整備完了を目指します。大竹駅の整備が進むと、交通結節機能が向上します。	現状値 (R1)	実績値 (R2)	実績値 (R3)	実績値 (R4)	実績値 (R5)	目標値 (R5)
大竹駅の整備率 (事業費ベース)		23.4%	33.3%				100%
KPI (重要業績評価指標)	【KPIの考え方】 具体的な事業化に向けて取り組むことが重要です。	現状値 (R1)	実績値 (R2)	実績値 (R3)	実績値 (R4)	実績値 (R5)	目標値 (R5)
小方まちづくり事業の整備完了面積		0%	0%				10%
【実施計画事業】		担当課		国土強靱化地域計画 [別冊]個別事業一覧 リスクシナリオ対応方策			総合戦略
1	大竹駅周辺整備事業	都市計画課		A-1②, B-1④, B-2① B-4①, B-6②, C-2① E-1②, E-3①② F-4①②			まち
2	小方地区のまちづくり事業	企画財政課 土木課 都市計画課					まち
3	都市計画の見直し (立地適正化計画策定事業)	都市計画課		A-1③			まち



実施計画事業 I

事業名	大竹駅周辺整備事業			担当課	都市計画課	
根拠法令		関連計画	大竹駅周辺整備新構想 大竹駅周辺地区バリアフリー基本構想			
取組の方針	自由通路及び橋上駅舎は令和4(2022)年度末、東口交通広場は令和5(2023)年度末、西口駅前広場は令和6(2024)年度末の完成をめざして整備を進めます。		概要	JR山陽本線で分断されている東西地区を自由通路で結び、駅舎の橋上化や東西駅前広場を一体的に整備・バリアフリー化することで、交通結節点の強化、駅へのアクセスや回遊性を向上させるとともに、駅周辺の活性化に取り組みます。		
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	
事業費(千円)	611,916	2,406,001	737,811	897,000	223,000	
財源内訳	国県費	219,543	957,366	310,014	395,450	106,150
	地方債	179,626	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0
	一般財源	212,747	1,448,635	427,797	501,550	116,850
【事業指標】 大竹駅の整備率(事業費ベース)						
目標値		46.0%	82.3%	96.0%	100.0%	
実績値	33.3%					
取組内容	次のことを行いました。 <input type="checkbox"/> 西口駅前広場仮設ロータリーの共用開始 <input type="checkbox"/> 駅舎・自由通路の杭基礎工事着手 <input type="checkbox"/> 物件および借家人補償契約を締結 <input type="checkbox"/> 自由通路用地の売買契約を締結 <input type="checkbox"/> 大竹駅周辺地区バリアフリー基本構想を策定 <input type="checkbox"/> 大竹駅東西広場詳細設計を完了	次のことを行います。 <input type="checkbox"/> 鉄道事業者と年度協定を締結 <input type="checkbox"/> 駅舎・自由通路の鉄骨工事に着手 <input type="checkbox"/> 大竹駅周辺地区の無電柱化検討業務に着手	次のことを行います。 <input type="checkbox"/> 鉄道事業者と年度協定を締結 <input type="checkbox"/> 鉄道事業者と西口駅前広場造成協定を締結予定 <input type="checkbox"/> 鉄道事業者と自由通路運営管理協定を締結予定 <input type="checkbox"/> 駅舎・自由通路の内部工事に着手予定 <input type="checkbox"/> 駅舎・自由通路の供用開始予定 <input type="checkbox"/> 東口交通広場の暫定供用予定 <input type="checkbox"/> 市道油見新町1号線の無電柱化工事着手予定 <input type="checkbox"/> 物件および借家人補償契約予定	次のことを行います。 <input type="checkbox"/> 鉄道事業者との年度協定を締結 <input type="checkbox"/> 東口交通広場の工事着手予定 <input type="checkbox"/> 既存駅舎および跨線橋の解体予定 <input type="checkbox"/> 西口駅前広場のロータリー工事着手予定 <input type="checkbox"/> 東口側トイレ整備工事着手予定	次のことを行います。 <input type="checkbox"/> 西口駅前広場の交流広場工事着手予定 <input type="checkbox"/> 鉄道事業者と西口駅前広場運営管理協定を締結予定 <input type="checkbox"/> 西口駅前広場用地の売買契約予定	



実施計画事業 2

事業名	小方地区のまちづくり事業		担当課	企画財政課、土木課 都市計画課	
根拠法令		関連計画	小方地区のまちづくり基本構想		
取組の方針	<ul style="list-style-type: none"> ●各ゾーンの事業化の時期を伺いながら準備作業を進めます。 ●アクセス道の整備に向けて、跡地利用を決定し、国道2号に関する公安委員会との交差点協議により交通導線を決定します。 ●「小方まちづくり基本構想」の核となる小方新駅の設置に向けて、地元や関係機関と協議を進めます。 		概要	新駅設置を前提とし、晴海臨海公園、亀居公園、小方港などの周辺施設との連動による旧小方小・中学校及び市民プール跡地の有効活用を進め、市全体の魅力を高めます。平成29年3月に「小方地区のまちづくり基本構想」を策定し、当該地域を5つにゾーニングし、それぞれの活用方策を示しました。そして平成29年度には、にぎわい交流ゾーンの事業化を目的に「立地検討業務」を実施したが、具体化には至っていません。	
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
事業費(千円)	495,279	758,821	34,816	未定	未定
財源内訳	国県費	172,165	282,303	13,100	
	地方債	258,400	367,915	0	
	その他	3,328	0	2,000	
	一般財源	61,386	108,603	19,716	
【事業指標】小方地区のまちづくりに係る事業進捗率(事業実施面積)※令和3年度に事業指標を見直し					
目標値			11.0%	11.0%	56.0%
実績値	0%				
取組内容	旧小方小・中学校跡地の地籍整理(監理課へ依頼)を行いました。そして、民間動向の情報収集や、新駅設置に向け土地区画整理事業の研修、東広島市への現地視察を行いました。 市道小方4号線の測量道路設計が完了し一部区間の工事に着手しました。 市役所敷地の一部を「子育て支援ゾーン」とし、認定こども園及び子育て支援施設の整備に着手しました。	引き続き旧小方小・中学校跡地の地籍整理(監理課へ依頼)を行います。 また、当該地区の周辺動向を確認し、新駅設置などを含めて事業の方向性について再度確認します。 市道小方4号線のR2年度着手分の工事が完了しました。 R2年度に着手した認定こども園及び子育て支援施設の整備が完了しました。	引き続き旧小方小学校跡地の地籍整理(監理課へ依頼)を行う予定です。 また、令和3年度に確認した事業の方向性に基づき、事業化に必要な調査・関係者協議を実施します。 「小方地区のまちづくり基本構想」に基づいた用途地域の見直しを検討します。 市道小方4号線の一部区間(小方ポンプ場付近)の改良工事を実施します。	事業化案について、一部着手する予定です。 市道小方4号線の国道2号に関する公安委員会との交差点協議を行う予定です。	着手した事業を継続実施する予定です。 市道小方4号線の改良済み区間～国道2号間の改良工事を行う予定です。



実施計画事業 3

事業名	都市計画の見直し (立地適正化計画策定事業)			担当課	都市計画課	
根拠法令				関連計画	大竹市都市計画マスタープラン	
取組の方針	市民、民間事業者、行政が一体となつて、持続可能な良好で賑わいのある都市づくりに取り組むためアクションプランである「立地適正化計画」を策定します。			概要	急速な人口減少と高齢化という人口動態に対応するため、居住機能や福祉・医療・商業などの都市機能の立地、公共交通の充実などに関する包括的なマスタープランを策定します。	
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	
事業費(千円)	5,588	3,800	8,920	—	—	
財源内訳	国県費	2,445	1,900	4,400		
	地方債	0	0	0		
	その他	0	0	0		
	一般財源	3,143	1,900	4,520		
【事業指標】立地適正化計画の策定率						
目標値		60%	100%	—	—	
実績値	30%					
取組内容	次のことを行いました。 現況の把握、上位関連計画の整理、地域意見などの把握、地域の将来状況の想定、都市構造上の課題の整理など。	次のことを行います。 基本的な方針、都市機能誘導区域の設定と施策、居住誘導区域の設定と施策、誘導施設の整備事業の検討。	次のことを行います。 居住誘導区域の設定と施策の検討、関連事業などの検討、事業方策の検討、事業効果の評価方法の検討、計画の作成、パブリックコメントの実施、公表。	※令和4年度で計画策定予定です。	—	

【3-2 きれいで利便性の高い道路環境の創造】

関連するSDGs17の目標

4年間で実現したい姿		道路、橋りょう、トンネルなどの整備・更新・修繕などが計画的に行われ、安全で利便性の高い道路環境が保たれています。					
KPI (重要業績評価指標)	【KPIの考え方】 計画的に補修を行うことで、維持管理コストを抑えながら安全な通行を確保することが重要です。	現状値 (R1)	実績値 (R2)	実績値 (R3)	実績値 (R4)	実績値 (R5)	目標値 (R5)
		健全性が保たれている橋りょうの割合		79%	79%		
【実施計画事業】		担当課		国土強靱化地域計画 [別冊]個別事業一覧 リスクシナリオ対応方策			総合戦略
1	国道及び高規格道路の総合整備事業	監理課		B-1④,B-2①,B-6② E-1②,E-3①,F-4①			
2(1)	道路・橋りょう維持事業	土木課		E-3②,F-4②			
2(2)	橋りょう長寿命化事業	土木課		B-1④,B-2①,B-6② E-1②,E-3①② F-4①②			
3	道路・橋りょう新設・改良事業	土木課		B-1④,B-2①,B-6② E-1②,E-3①② F-4①②			



実施計画事業 I

事業名	国道及び高規格道路の総合整備事業				担当課	監理課
根拠法令				関連計画		
取組の方針	早期の完成に向けて地元の協力を得るとともに、事業主体である国や県への要望活動を行います。			概要	国道(国道2号、国道186号、岩国大竹道路)の整備促進(充実強化)を進めるため、関係する近隣自治体と協議会や期成同盟会を組織し、国・県などに切れ目のない要望活動を行います。	
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	
事業費(千円)	242	162	122	242	242	
財源内訳	国県費	0	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0
	一般財源	242	162	122	242	242
【事業指標】 岩国大竹道路事業に関する事業用地の取得率(事業用地の総面積に対する取得済み用地面積の割合)						
目標値		100%	100%	100%	100%	
実績値	72%					
取組内容	国道(国道2号、国道186号、岩国大竹道路)の整備促進(充実強化)を進めるため、協議会や期成同盟会を組織し、国・県などに要望活動を行いました。 国への要望 2回 県への要望 1回	国道(国道2号、国道186号、岩国大竹道路)の整備促進(充実強化)を進めるため、国・県などに要望活動を行います。	国道(国道2号、国道186号、岩国大竹道路)の整備促進(充実強化)を進めるため、国・県などに要望活動を行います。	国道(国道2号、国道186号、岩国大竹道路)の整備促進(充実強化)を進めるため、国・県などに要望活動を行います。	国道(国道2号、国道186号、岩国大竹道路)の整備促進(充実強化)を進めるため、国・県などに要望活動を行います。	



実施計画事業 2(1)

事業名	道路・橋りょう維持事業			担当課	土木課	
根拠法令				関連計画		
取組の方針	5年に1度の定期点検と診断結果の分析により、メンテナンスサイクルを構築しながら、老朽化が進む橋りょう・トンネルを計画的に改修・保全します。			概要	計画的な舗装補修及び、適宜必要に応じた道路施設の維持修繕を行います。	
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	
事業費(千円)	96,299	131,761	92,398	125,398	125,398	
財源内訳	国県費	26,238	29,160	28,920	28,920	28,920
	地方債	27,800	72,700	24,200	24,200	24,200
	その他	0	0	7,588	0	0
	一般財源	42,261	29,901	31,690	72,278	72,278
【事業指標】補修が必要な道路のうち補修が完了した箇所数(累計)						
目標値		12箇所	15箇所	未定	未定	
実績値	8箇所					
取組内容	舗装の個別施設計画に基づき舗装補修を行いました。 1箇所(新町1丁目)	舗装の個別施設計画に基づき5箇所(港町2丁目ほか)の舗装補修を行う予定です。	舗装の個別施設計画に基づき2箇所の舗装補修を行う予定です。 令和5年度以降の計画について、個別施設計画の見直しを行います。	未定	未定	



実施計画事業 2(2)

事業名		橋りょう長寿命化事業			担当課	土木課
根拠法令					関連計画	大竹市橋梁長寿命化修繕計画等
取組の方針		5年に1度の定期点検と診断結果の分析により、メンテナンスサイクルを構築しながら、老朽化が進む橋りょう・トンネルを計画的に改修・保全します。			概要	長寿命化修繕計画等に基づき、道路施設の保全を行います。
		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
事業費(千円)		29,470 (内繰越分)4,180	63,500 (内繰越分)28,500	128,000	344,900	18,500
財源内訳	国県費	15,414 (内繰越分)1,970	30,250 (内繰越分)13,200	70,400	189,600	10,175
	地方債	7,000	0	51,200	0	0
	その他	810	0	0	0	0
	一般財源	6,246	33,250	6,400	155,300	8,325
【事業指標】 補修が必要な橋りょう・トンネルなどのうち補修が完了した箇所数(累計)						
目標値		9箇所	12箇所	12箇所	14箇所	
実績値	8箇所					
取組内容	橋梁長寿命化修繕計画やその他の個別施設計画に基づき、施設の点検や補修工事などを行いました。 2橋(玖波4~5丁目、東栄1丁目)の補修工事	橋梁長寿命化修繕計画やその他の個別施設計画に基づき、施設の点検や補修工事などを行います。 1橋(玖波5~6丁目)の補修工事を予定しています。	橋梁長寿命化修繕計画やその他の個別施設計画に基づき、施設の点検や補修工事などを行います。 3橋の補修工事を予定しています。	橋梁長寿命化修繕計画やその他の個別施設計画に基づき、施設の点検や補修工事などを行います。 JR山陽本線を跨ぐ城山陸橋の補修工事に着手予定です。	橋梁長寿命化修繕計画やその他の個別施設計画に基づき、施設の点検や補修工事などを行います。 昨年度に引き続き城山陸橋の補修工事を実施します。ほか2橋の補修工事を予定しています。	



実施計画事業 3

事業名	道路・橋りょう新設・改良事業			担当課	土木課	
根拠法令				関連計画		
取組の方針	地域のニーズや道路の利用状況などを把握しながら、安全に課題がある箇所や狭あい道路の改善など、計画的・効果的な道路整備を行います。			概要	狭あい道路の利用状況などを把握した上で、安心安全に利用できる道路整備を行います。	
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	
事業費(千円)	213,005 (内繰越分)101,820	135,827 (内繰越分)80,500	61,810	85,000	85,000	
財源内訳	国県費	87,920	21,150	15,950	0	0
	地方債	71,500	26,300	1,100	0	0
	その他	0	0	27,274	0	0
	一般財源	53,585	88,377	17,486	85,000	85,000
【事業指標】安全に課題がある箇所や狭あい道路を改善した箇所数(累計)						
目標値		5箇所	11箇所	12箇所	未定	
実績値	3箇所					
取組内容	安全に課題のある箇所の道路整備を実施しました。 【令和元年度～令和2年度】 青木踏切拡幅改良を実施しました。 【令和2年度】 用地を買収し大竹郵便局前交差点の歩道整備を実施しました。	安全に課題のある箇所の道路整備を実施します。また、狭あい道路事業化に向けて要綱などを定める予定です。 小方4号線道路工事をを行います。 松ヶ原3号線の曲線部の用地買収地の改良工事を実施します。 恵川橋歩道整備を実施します。	安全に課題のある箇所の道路整備を実施予定です。 小方4号線道路工事を予定しています。 下記路線の局部改良工事を予定しています。 □油見15号線(隅切り工事) □南栄下白石線(交差点部の歩道拡幅) □小方1号線(歩道改良) □立戸山手線(取付道整備) □白石5号線(歩道拡幅)	安全に課題のある箇所の道路整備を実施予定です。 南栄下白石線の歩道整備を予定しています。	未定	

【3-3 生活を支える公共交通の充実】

関連するSDGs17の目標



4年間で実現したい姿		「住民自らが創り・守り・育てる」便利で持続可能な地域の公共交通が整備され、市民の移動を支えています。					
KPI (重要業績評価指標)	【KPIの考え方】 半数以上を目指します。将来に向けて地域の移動を支え続ける意識を持つことが重要です。	現状値 (R1)	実績値 (R2)	実績値 (R3)	実績値 (R4)	実績値 (R5)	目標値 (R5)
		「目的地までの移動がしやすいまちだ」と答えた人の割合	58.4%	56.5%			
【実施計画事業】		担当課		国土強靱化地域計画 [別冊]個別事業一覧 リスクシナリオ対応方策			総合 戦略
1	地域公共交通整備事業	自治振興課					まち



実施計画事業 I

事業名	地域公共交通整備事業			担当課	自治振興課	
根拠法令	地域公共交通の活性化及び再生に関する法律	関連計画	地域公共交通計画			
取組の方針	「地域公共交通計画」に基づき、住民と交通事業者と市が協議し、今後利用する可能性のある人のニーズなども踏まえて運行内容の見直し、改善を行います。		概要	市内幹線交通、支線交通及び廃止路線代替バスを運行します。辺地タクシーの赤字を補助します。利便性・持続性の高い運行サービスの実施や支援、改善などを行います。		
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	
事業費(千円)	47,220	44,388	48,257	53,257	96,257	
財源内訳	国県費	1,009	1,008	1,015	3,515	1,015
	地方債	0	0	0	0	0
	その他	20,645	20,600	21,486	21,486	21,486
	一般財源	25,566	22,780	25,756	28,256	73,756
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	
【事業指標】 大竹・栗谷線・坂上線の年間利用者数						
目標値		16,000人	16,000人	16,000人	未定	
実績値	16,715人					
取組内容	市民の暮らしやまちづくりを支える地域公共交通網の形成・維持のため、廃止路線代替バス(大竹・栗谷線・坂上線)を運行しました。	市民の暮らしやまちづくりを支える地域公共交通網の形成・維持のため、廃止路線代替バス(大竹・栗谷線・坂上線)を運行します。	引き続き、廃止路線代替バス(大竹・栗谷線・坂上線)を運行します。令和6年度以降の新たな公共交通計画策定に向けて、現行の計画の維持や見直しを検討するため、課題整理やニーズ調査し、今後の方向性を検討します。	引き続き、廃止路線代替バス(大竹・栗谷線・坂上線)を運行します。 現行の計画の維持だけでなく、運行形態などを検討する新たな公共交通計画を策定します。	令和6年度以降の新たな公共交通計画に基づき、利便性・持続性の高い運行サービスの実施や支援などを行います。	

【事業指標】 こいこいバスと支線交通の年間利用者数

目 標 値		108,000人	117,000人	118,000人	118,000人
実 績 値	106,351人				
取 組 内 容	<p>幹線バス(こいこいバス)と支線交通(三ツ石地区乗合タクシー、ひまわりタクシー、湯舟のりあいタクシー、栄ぐるりんタクシー、あじさいタクシー)を運行しました。</p> <p>谷和・広原地区辺地タクシーの運行経費の赤字分を補助しました。</p> <p>バスや乗合タクシーなど市民の暮らしやまちづくりを支える地域公共交通網の形成・維持のため、利便性・持続性の高い運行サービスの実施や支援、改善などを行いました。</p>	<p>幹線バス(こいこいバス)と支線交通(三ツ石地区乗合タクシー、ひまわりタクシー、湯舟のりあいタクシー、栄ぐるりんタクシー、あじさいタクシー)を運行します。</p> <p>谷和・広原地区辺地タクシーの運行経費の赤字分を補助します。</p> <p>バスや乗合タクシーなど市民の暮らしやまちづくりを支える地域公共交通網の形成・維持のため、利便性・持続性の高い運行サービスの実施や支援、改善などを行います。</p>	<p>引き続き、こいこいバスや支線交通の運行などを行います。</p> <p>令和6年度以降の新たな公共交通計画策定に向けて、ニーズや実態の把握・関係各所への聞き取り・取りまとめ・分析を行います。</p>	<p>引き続き、こいこいバスや支線交通の運行などを行います。</p> <p>現行計画の維持や見直しをします。</p> <p>これまでに行った調査・分析結果を踏まえた新たな公共交通計画を策定します。</p>	<p>令和6年度以降の新たな公共交通計画に基づき、利便性・持続性の高い運行サービスの実施や支援などを行います。</p> <p>また、13年目を迎えるこいこいバス車両の状態を踏まえ、必要に応じて更新を行います。</p>

【3-4 まちの産業と物流を支える港湾・漁港の整備】

関連するSDGs17の目標

4年間で実現したい姿		港湾施設・漁港施設の利便性が保たれ、効率的で安全な施設利用が可能になっています。					
KPI (重要業績評価指標)	【KPIの考え方】 大竹港の整備によって利便性が高まり、取扱貨物量が増加すると、市内産業の活性化に繋がります。	現状値 (R1)	実績値 (R2)	実績値 (R3)	実績値 (R4)	実績値 (R5)	目標値 (R5)
大竹港で取り扱う貨物の量		145万t	123万t (速報値)				160万t
【実施計画事業】		担当課		国土強靱化地域計画 [別冊]個別事業一覧 リスクシナリオ対応方策			総合 戦略
1	港湾施設管理事業	土木課		B-1④,B-2①,B-6② E-1②,E-3①,F-4①			しごと
2	漁港施設維持管理事業	土木課		B-1③④,B-2①,B-5② B-6②,E-1②,E-3① E-4①,F-4①			しごと



実施計画事業 I

事業名	港湾施設管理事業				担当課	土木課
根拠法令				関連計画		
取組の方針	<p>●大竹港東栄地区コンテナヤードの拡張など、利用実態に合わせた施設と管理体制の整備について、関係機関と協議しながら取り組めます。</p> <p>●物流の円滑化を目的とする国道2号を結ぶアクセス道路の早期整備に向け、関係機関に働きかけます。</p>			概要	<p>大竹港の利用促進のため、港湾施設の適正な維持管理を行い、物流の拡充や渋滞緩和のため、国道2号栄橋北詰交差点から大竹港のアクセス道路の早期整備に向け、関係機関に働きかけます。</p>	
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	
事業費(千円)	35,946	45,847	45,647	45,647	45,647	
財源内訳	国県費	7,250	7,250	7,250	7,250	7,250
	地方債	0	0	0	0	0
	その他	28,696	38,597	38,397	38,397	38,397
	一般財源	0	0	0	0	0
【事業指標】 アクセス道路に関する事業用地の取得率(事業用地の総面積に対する取得済み用地面積の割合)						
目標値		0%	事業地総面積確定後設定			
実績値	0%					
取組内容	<p>測量調査業務や予備設計業務などを実施し、関係機関との協議を整えました。</p>	<p>詳細設計業務を行います。</p> <p>※事業指標の目標値は、詳細設計にて事業用地総面積が確定した後(用地境界立会終了後)に、設定予定です。</p>	<p>用地境界立会などを実施予定。</p>	<p>用地境界立会などを実施予定。</p>	<p>用地交渉(買収)を行う予定。</p>	



実施計画事業 2

事業名	漁港施設維持管理事業			担当課	土木課
根拠法令	漁港漁場整備法		関連計画		
取組の方針	定期点検結果を踏まえた計画的な修繕、更新により、漁港施設を適切に維持管理します。		概要	漁港漁場整備法に基づき、漁港施設の整備・維持修繕や水域管理などを適切に行い、長寿命化を進めます。	
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
事業費(千円)	117,721	65,600	23,000	273,000	95,000
財源内訳	国県費	59,580	34,040	13,800	令和5年度以降は予算を決め次第入力。
	地方債	40,200	15,300	9,200	
	その他	0	0	0	
	一般財源	17,941	16,260	-	
【事業指標】 漁港施設で対策が必要な箇所のうち、改修などに着手した箇所数(累計)					
目標値		11箇所	12箇所	14箇所	16箇所
実績値	8箇所				
取組内容	阿多田猪子東浮棧橋修繕、玖波漁港浚渫工事を行いました。	猪子東浮棧橋補修工事、玖波10号物揚場補修工事、玖波漁港照明施設改築更新工事を実施予定です。	猪子西浮棧橋補修工事を実施予定です。	東1号浮棧橋改築更新工事、猪子西浮防波堤補修工事を実施予定です。(令和3年度の玖波漁港機能保全計画見直しにより変更の可能性あり)	猪子西浮防波堤補修工事、本浦西浮棧橋補修工事を実施予定です。(令和3年度の玖波漁港機能保全計画見直しにより変更の可能性あり)

【3-5 住みよさと安心を生む住宅政策】

関連するSDGs17の目標



4年間で実現したい姿		住宅の耐震化や空き家の有効活用が進み、安全で良好な住環境が保たれています。					
KPI (重要業績評価指標)	【KPIの考え方】 市内の住宅の耐震化が進むことで、災害時の被害を抑制することができます。	現状値 (R1)	実績値 (R2)	実績値 (R3)	実績値 (R4)	実績値 (R5)	目標値 (R5)
住宅耐震化率		83.1%	—				92.0%
KPI (重要業績評価指標)	【KPIの考え方】 空き家バンクへの登録数が増えることで、空き家の有効活用が期待できます。	現状値 (R1)	実績値 (R2)	実績値 (R3)	実績値 (R4)	実績値 (R5)	目標値 (R5)
空き家バンク登録件数 (累計)		0件	0件				2件
【実施計画事業】		担当課		国土強靱化地域計画 [別冊]個別事業一覧 リスクシナリオ対応方策			総合戦略
1	市営住宅長寿命化事業 (平屋住宅解体事業)	都市計画課		A-1②,B-4①,C-2①			
2	住宅改修等補助事業	都市計画課		A-1①③,A-4① G-3①②			まち
3	空家対策事業	都市計画課 企画財政課		A-1③,G-1①,G-3②			まち



実施計画事業 I

事業名	市営住宅長寿命化事業(平屋住宅解体事業)			担当課	都市計画課	
根拠法令	公営住宅法		関連計画	大竹市営住宅等長寿命化計画		
取組の方針	<ul style="list-style-type: none"> ●居住者の早期移転を積極的に促し、市営木造平屋住宅の解体を進めます。 ●解体が完了した市営住宅跡地の利活用を検討します。 		概要	「大竹市営住宅等長寿命化計画」に基づき、団地別・住棟別の改修工事や老朽化した市営木造平屋住宅の解体を行います。		
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	
事業費(千円)	10,167	0	30,000	12,000	12,000	
財源内訳	国県費	4,266	0	11,250	4,500	4,500
	地方債	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0
	一般財源	5,901	0	18,750	7,500	7,500
【事業指標】市営木造平屋住宅の管理戸数						
目標値		170戸	155戸	150戸	145戸	
実績値	177戸					
取組内容	老朽化した木造市営平屋住宅の解体を実施しました。飛石住宅及び唐船浜住宅用地については、監理課へ所管替えしました。 9戸解体(白石)	老朽化した木造市営平屋住宅の解体を実施予定していましたが、二度の入札不調のため、未実施としました。	老朽化した木造市営平屋住宅の解体を実施予定です。(年間15～25戸解体予定。) 入居者の退去が完了した油見住宅団地の解体を実施予定です。	老朽化した木造市営平屋住宅の解体を実施予定です。(年間5～10戸解体予定。)	老朽化した木造市営平屋住宅の解体を実施予定です。(年間5～10戸解体予定。)	



実施計画事業 2

事業名	住宅改修等補助事業			担当課	都市計画課	
根拠法令	耐震改修促進法		関連計画	大竹市耐震改修促進計画		
取組の方針	<p>●大竹市耐震改修促進計画に基づき、市内の住宅や多数の者が利用する建築物の耐震化を進めます。</p> <p>●耐震化の重要性を啓発し、耐震診断や耐震改修・住宅リフォーム補助制度の利用を促進します。</p>		概要	<p>個人住宅の安全と質の向上、定住促進のため、市内居住者又は予定者に対して、住宅改修など各対象工事の費用の一部を補助します。</p>		
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	
事業費(千円)	1,908	3,125	9,984	9,984	9,984	
財源内訳	国県費	868	1,439	4,741	4,741	4,741
	地方債	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0
	一般財源	1,040	1,686	5,243	5,243	5,243
【事業指標】 リフォーム補助事業の年間申請件数						
目標値		16件	17件	18件	19件	
実績値	15件					
取組内容	<p>次のことを行いました。</p> <p>15件のリフォーム申請全てに補助金を交付決定。</p>	<p>次のことを行いました。</p> <p>19件のリフォーム申請全てに補助金を交付決定。</p>	<p>住宅リフォーム補助制度の利用促進を行います。</p>	<p>住宅リフォーム補助制度の利用促進を行います。</p>	<p>住宅リフォーム補助制度の利用促進を行います。</p>	
【事業指標】 住宅改修補助事業の年間申請件数						
目標値		1件	1件	2件	2件	
実績値	1件					
取組内容	<p>次のことを行いました。</p> <p>□ブロック塀などの除却 1件</p>	<p>次のことを行いました。</p> <p>□特定空家などの除却 1件</p> <p>□ブロック塀などの除却 3件</p>	<p>住宅改修補助制度の利用促進を行います。</p>	<p>住宅改修補助制度の利用促進を行います。</p>	<p>住宅改修補助制度の利用促進を行います。</p>	



実施計画事業 3

事業名	空家対策事業		担当課	都市計画課 企画財政課	
根拠法令	空家等対策の推進に関する特別措置法	関連計画	大竹市空家等対策計画		
取組の方針	<ul style="list-style-type: none"> ●警察と連携し、危険な空き家への対応や危険な空き家にならないための所有者への適切なアドバイスを行います。 ●定住促進の観点から、空き家の有効活用を検討します。 		概要	平成27年5月に施行された「空家等対策の推進に関する特別措置法」に基づき、空き家などの適正な管理の促進と危険空き家に対する指導・助言などを行います。	
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
事業費(千円)	0	1,856	7,232	7,100	未定
財源内訳	国県費	0	0	3,225	0
	地方債	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0
	一般財源	0	1,856	4,007	7,100
【事業指標】 空き家に関する年間相談件数					
目標値		35件	37件	40件	45件
実績値	37件				
取組内容	<input type="checkbox"/> 警察から情報提供のあった空き家について、現地確認を行いました。(123件分) <input type="checkbox"/> 空き家に関するパンフレットを作成し、空き家問題に対する啓発を行いました。(令和3年度初旬、広報及び市外家屋所有者へ固定資産税の納付書と合わせ送付。)	<input type="checkbox"/> 調査で危険空き家候補と判定された市街地の空き家等の再調査を行いました。 <input type="checkbox"/> 大竹市空家等対策協議会を開催しました。 <input type="checkbox"/> 「大竹市空家等対策計画」の一部を変更する予定です。 <input type="checkbox"/> 特定空家等除却補助事業の利用により、特定空家等を1件除却しました。	<input type="checkbox"/> 適正管理されていない危険な空き家への対応や、危険な空き家にならないための適切なアドバイスを行います。 <input type="checkbox"/> 広島県司法書士会と連携した、空き家問題に関する啓発活動を行います。 <input type="checkbox"/> 大竹市空家実態調査の実施を予定しています。(全戸調査)	<input type="checkbox"/> 適正管理されていない危険な空き家への対応や、危険な空き家にならないための適切なアドバイスを行います。 <input type="checkbox"/> 広島県司法書士会と連携した、空き家問題に関する啓発活動を行います。 <input type="checkbox"/> 令和4年度実施の大竹市空家実態調査の結果を踏まえた、「大竹市空家等対策計画」の改訂を予定しています。	<input type="checkbox"/> 適正管理されていない危険な空き家への対応や、危険な空き家にならないための適切なアドバイスを行います。 <input type="checkbox"/> 広島県司法書士会と連携した、空き家問題に関する啓発活動を行います。

【3-6 楽しさと憩いを提供する公園・緑地の整備】

関連するSDGs17の目標



4年間で実現したい姿		市民が安心して公園を利用できています。晴海臨海公園は多様な用途に活用できる魅力的なスポットになっています。					
KPI (重要業績評価指標)	【KPIの考え方】 晴海臨海公園は現在多くの利用者でにぎわっています。施設を適切に維持管理するとともに、利用者にとって魅力ある公園となる取組を行うことで、にぎわいを維持します。	現状値 (R1)	実績値 (R2)	実績値 (R3)	実績値 (R4)	実績値 (R5)	目標値 (R5)
晴海臨海公園の利用者数		209,424人	191,272人				210,000人
【実施計画事業】		担当課		国土強靱化地域計画 [別冊]個別事業一覧 リスクシナリオ対応方策			総合戦略
1	公園緑地維持管理事業	都市計画課		A-1②,B-4①,B-8① C-2①			
2	晴海臨海公園整備事業	都市計画課		A-1②,B-4①,B-8① C-2①			まち
3	穂仁原地区水辺の広場整備事業	土木課 生涯学習課 自治振興課					



実施計画事業 I

事業名	公園緑地維持管理事業			担当課	都市計画課
根拠法令	都市公園法		関連計画	大竹市都市公園長寿命化計画	
取組の方針	<ul style="list-style-type: none"> ●市民の意見や時代のニーズを反映しつつ、「公園施設長寿命化計画」に基づいた適切な整備・維持管理を行います。 ●地域住民による維持管理を推進するため、地域の清掃活動などに対して必要な物品の支給を行い、清掃活動が行いやすいよう支援を行います。 		概要	<ul style="list-style-type: none"> ○遊具などを点検し適切な整備・維持管理を行います。 ○公園の美化清掃活動に必要な備品などの購入に対し、自治会へ補助を行います。 	
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
事業費(千円)	31,023	29,489	28,998	28,998	28,998
財源内訳	国県費	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0
	一般財源	31,023	29,489	28,998	28,998
【事業指標】 公園施設の年間修繕・更新数(長寿命化計画に基づく優先順位に沿った整備)					
目標値		30施設	30施設	30施設	30施設
実績値	29施設				
取組内容	公園施設の点検を随時行い、必要な修繕・更新を行いました。	公園施設の点検を随時行い、必要な修繕・更新を行います。	公園施設の点検を随時行い、必要な修繕・更新を行います。	公園施設の点検を随時行い、必要な修繕・更新を行います。	公園施設の点検を随時行い、必要な修繕・更新を行います。



実施計画事業 2

事業名	晴海臨海公園整備事業			担当課	都市計画課
根拠法令	都市公園法		関連計画		
取組の方針	多目的ゾーンの整備を計画的に進めます。運動や憩いの場としてだけでなく、災害時にも利用できるオープンスペースとして整備します。		概要	多目的グラウンド(西側ゾーン)の雨水処理をするための雨水排水管整備や、歩道・遊歩道の整備を行います。(3年計画)	
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
事業費(千円)	10,416	63,000	113,000	120,000	未定
財源内訳	国県費	0	60,000	0	0
	地方債	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0
	一般財源	10,416	3,000	113,000	120,000
【事業指標】 晴海臨海公園の整備率(面積)					
目標値		30%	60%	100%	%
実績値	0%				
取組内容	次のことを行いました。 □第3期工事の住民説明など ※事業指標は、第3期工事についてのものであるため、実績値は令和2年度から。	次のことを行います。 □雨水排水施設の整備 □園路の整備	次のことを行います。 □雨水排水施設の整備 □園路の整備	次のことを行います。 □雨水排水施設の整備 □駐車場の整備	未定

実施計画事業 3

事業名	穂仁原地区水辺の広場整備事業			担当課	土木課、生涯学習課 自治振興課
根拠法令		関連計画			
取組の方針	<p>「水辺の広場」として整備します。広場の利用については、広く市民などに親しみを持ってもらえる空間となるよう、関係部署とも連携していきます。</p> <p>また、「手すき和紙」や「雑流し」などの伝統文化の保存・継承の場所としても利用を図ります。</p>		概要	<p>国道186号道路改良事業に伴い、解体された旧穂仁原小学校について、跡地を水辺の広場として整備することで、地元のレクリエーションや伝統文化の継承などの目的も含め、より多くの人々が利用できるようにします。</p>	
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
事業費(千円)	—	4,050	25,000	16,000	—
財源内訳	国県費	0	0	0	
	地方債	0	0	0	
	その他	0	0	0	
	一般財源	4,050	25,000	16,000	
【事業指標】水辺の広場整備率（事業用地の総面積に対する整備面積の割合）					
目標値		—	14%	100%	—
実績値		—			
取組内容		建物の詳細設計業務などを実施します。	建築工事、バス停設置、照明工事を実施予定です。	広場の造成工事、コウゾ畑及び駐車場の整備を予定しています。	※令和5年度で終了予定。

【3-7 暮らしを支える上下水道の整備】

関連するSDGs17の目標



4年間で実現したい姿		適切な下水処理が行われ、衛生的な生活環境が維持できています。					
KPI (重要業績評価指標)	【KPIの考え方】 総人口に対する汚水処理施設の普及状況を指標としています。衛生的な生活環境を維持するためには、適切な下水処理が行われることが必要です。	現状値 (R1)	実績値 (R2)	実績値 (R3)	実績値 (R4)	実績値 (R5)	目標値 (R5)
汚水処理人口普及率		99.1%	99.2%				99.3%
【実施計画事業】		担当課		国土強靱化地域計画 [別冊]個別事業一覧 リスクシナリオ対応方策			総合戦略
1	公共下水道事業	上下水道局		F-3①			まち
2	次期し尿処理施設整備事業	環境整備課 上下水道局					



実施計画事業 I

事業名	公共下水道事業			担当課	上下水道局	
根拠法令	下水道法	関連計画	大竹市公共下水道事業経営戦略 大竹市下水道ストックマネジメント計画			
取組の方針	<ul style="list-style-type: none"> ●生活環境の改善や公共用水域の水質を保全するため、公共下水道への接続率(水洗化率)の向上に取り組めます。 ●「大竹市公共下水道事業経営戦略」に基づき、下水道施設の効率的・計画的な整備を進めます。 		概要	「大竹市下水道事業経営戦略」や「大竹市下水道ストックマネジメント計画」に基づき、施設・設備の整備・更新を行います。		
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	
事業費(千円)	228,947	826,161	722,335	634,724	501,363	
財源内訳	国県費	26,738	364,848	291,151	314,998	247,313
	地方債	50,200	380,500	322,100	271,920	212,417
	その他	21,974	63,393	102,969	30,937	31,634
	一般財源	130,035	17,420	6,115	16,869	9,999
【事業指標】 大竹市下水道ストックマネジメント計画に基づく改築更新率 (対象改築設備のうち整備した施設の割合)						
目標値		30.0%	44.0%	72.0%	100%	
実績値	1.5%					
取組内容	「大竹市下水道ストックマネジメント計画」に基づき、施設・設備の整備・更新を行いました。	「大竹市下水道ストックマネジメント計画」に基づき、施設・設備の整備・更新を行います。	「大竹市下水道ストックマネジメント計画」に基づき、施設・設備の整備・更新を行います。	「大竹市下水道ストックマネジメント計画」に基づき、施設・設備の整備・更新を行います。	「大竹市下水道ストックマネジメント計画」に基づき、施設・設備の整備・更新を行います。	

実施計画事業 2

事業名	次期し尿受入施設整備事業			担当課	環境整備課 上下水道局	
根拠法令	廃棄物の処理及び清掃に関する法律		関連計画	大竹市一般廃棄物処理基本計画 社会資本整備総合計画		
取組の方針	下水道施設と一体的に運営・管理できる、最も合理的で効率的な処理方式のし尿処理施設を整備します。		概要	し尿及び浄化槽汚泥の処理施設を下水道施設と統合し、共同処理を行うため、新たなし尿受入施設を整備します。		
上下水道局	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	
事業費(千円)	18,003	58,260	110,000	424,000	500,000	
財源内訳	国県費	7,000	26,191	61,061	199,524	236,049
	地方債	6,500	24,600	37,600	172,700	203,100
	その他	2,531	7,376	11,256	51,630	60,709
	一般財源	1,972	93	83	146	142
環境整備課	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	
事業費(千円)	1,972	7,707	45,149	100	100	
財源内訳	国県費	0	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0
	その他	0	0	470	4,692	0
	一般財源	1,972	7,707	45,149	100	100
【事業指標】 次期し尿受入施設の整備進捗率						
目標値		7.6%	13.0%	49.8%	93.2%	
実績値	1.4%					
取組内容	<p>【上下水道局】 新受入施設の整備に係る、都市計画及び事業認可などの変更並びに基本設計業務を行いました。</p>	<p>【環境整備課】 第2貯留槽の汚泥撤去に係る調査を行った結果、上澄水の除去を開始します。</p> <p>【上下水道局】 新受入施設の詳細設計業務を実施します。</p>	<p>【環境整備課】 解体工事開始前に第2貯留槽に蓄積された汚泥(上澄水・沈降物)の撤去を行います。</p> <p>※財源内訳の「その他」は、和木町からの負担金収入。</p> <p>【上下水道局】 新受入施設の詳細設計業務、建設工事及び既存受入施設の解体工事を実施します。</p>	<p>【環境整備課】 ※財源内訳の「その他」は、和木町からの負担金収入。</p> <p>【上下水道局】 新受入施設の建設工事、設備工事及び既存受入施設の解体工事を実施します。</p>	<p>【環境整備課】 一般財源 = 上下水道局による令和6年度分の建設工事費に対する起債の端数(10万円未満)分として計上。</p> <p>【上下水道局】 新受入施設の設備工事を実施します。</p>	

4年間で実現したい姿		安全で良質な水道水が安定して供給されています。					
KPI (重要業績評価指標)	【KPIの考え方】 安定した水道水を提 供するためには、水源 地からの配水が十分で あることだけでなく、 無収水量を減らし、各 家庭などが使用する水 量を確保することが必 要です。	現状値 (R1)	実績値 (R2)	実績値 (R3)	実績値 (R4)	実績値 (R5)	目標値 (R5)
有収率(配水量に対する 有収水量の割合) 【上水】		78.6%	77.8%				86.8%
【実施計画事業】		担当課		国土強靱化地域計画 [別冊]個別事業一覧 リスクシナリオ対応方策			総合 戦略
3	上水道事業	上下水道局		B-1①,F-2①			まち



実施計画事業 3

事業名	上水道事業			担当課	上下水道局
根拠法令	水道法	関連計画	大竹市水道事業経営戦略		
取組の方針	<ul style="list-style-type: none"> ●国、県、関係企業などと連携して水質を保全します。 ●水の安全性を周知するため、水質検査を適宜実施し、結果をホームページなどで公表します。 ●「大竹市水道事業経営戦略」に基づき、老朽化した施設の更新及び耐震化を行います。 		概要	「大竹市水道事業経営戦略」に基づき、施設・設備の整備・更新や水質保全を行います。	
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
事業費(千円)	125,513	393,854	364,438	337,436	248,875
財源内訳	国県費	0	0	0	0
	地方債	41,700	169,600	163,000	165,900
	その他	17,202	77,904	51,772	7,648
	一般財源	66,611	146,350	149,666	163,888
【事業指標】 配水管改良を実施した年間箇所数					
目標値		11箇所	5箇所	10箇所	10箇所
実績値	3箇所				
取組内容	老朽化した配水管の改良工事を行いました。	老朽化した配水管改良工事を行います。	老朽化した配水管改良工事を行います。	老朽化した配水管改良工事を行います。	老朽化した配水管改良工事を行います。

【3-8 環境にやさしい持続可能なまちづくり】

関連するSDGs17の目標



4年間で実現したい姿		市民・事業者・関係団体・行政の協働による、4R(Refuse・Reduce・Reuse・Recycle)の取組により、ごみの減量化が進んでいます。					
KPI (重要業績評価指標)	【KPIの考え方】 1人あたりの家庭ごみの排出量を減らすことで、ごみの減量化を進めます。	現状値 (R1)	実績値 (R2)	実績値 (R3)	実績値 (R4)	実績値 (R5)	目標値 (R5)
	家庭ごみの排出量 (1人1日あたり)	587g	603g				522g
【実施計画事業】		担当課		国土強靱化地域計画 [別冊]個別事業一覧 リスクシナリオ対応方策		総合戦略	
1	ごみ減量化・資源化促進事業	環境整備課					

実施計画事業 I

事業名	ごみ減量化・資源化促進事業			担当課	環境整備課
根拠法令	廃棄物の処理及び清掃に関する法律	関連計画	大竹市一般廃棄物処理基本計画		
取組の方針	<p>●ごみの適正な分別、ごみ出しルールの遵守への指導とリサイクル化の取組の周知・啓発を強化します。</p> <p>●生ごみの堆肥化や資源ごみのリサイクル化、食品ロスの削減などにより、ごみの減量化を進めます。</p>		概要	<p>○市広報などを活用し、市民に対し、適正な分別や生ごみの減量化及び資源ごみのリサイクルに関する周知・啓発を行います。</p> <p>○資源回収実施団体報奨金及び生ごみ処理容器など購入補助金を交付します。</p>	
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
事業費(千円)	5,772	5,774	6,955	6,955	6,955
財源内訳	国県費	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0
	一般財源	5,772	5,774	6,955	6,955
【事業指標】 ごみのリサイクル率(総排出量に対する資源化した量の割合)					
目標値		22.2%	23.6%	25.0%	26.4%
実績値	21.2%				
取組内容	<p>市広報などを活用し、市民に対し、適正な分別などに関する周知・啓発を行いました。また、資源回収実施団体への報奨金及び生ごみ処理容器など購入者への補助金を交付しました。</p> <p>資源回収団体への報償金支給件数 1,036件</p>	<p>市広報などを活用し、市民に対し、適正な分別などに関する周知・啓発を行いました。また、資源回収実施団体に対する報奨金及び生ごみ処理容器など購入者に対する補助金を交付します。</p>	<p>市広報などを活用し、市民に対し、適正な分別などに関する周知・啓発を行います。また、資源回収実施団体に対する報奨金及び生ごみ処理容器など購入者に対する補助金を交付します。</p>	<p>市広報などを活用し、市民に対し、適正な分別などに関する周知・啓発を行います。また、資源回収実施団体に対する報奨金及び生ごみ処理容器など購入者に対する補助金を交付します。</p> <p>大竹市一般廃棄物処理基本計画を改定し、具体的な取組を決定する予定です。</p>	<p>市広報などを活用し、市民に対し、適正な分別などに関する周知・啓発を行います。また、資源回収実施団体に対する報奨金及び生ごみ処理容器など購入者に対する補助金を交付します。</p> <p>令和5年度に改定した計画内容を踏まえ、決定した取組を実施します。</p>

4年間で実現したい姿		市民・事業者・関係団体・行政がそれぞれの責務に応じた役割を担い、協働することで、環境にやさしい快適なまちづくりが進められています。					
KPI (重要業績評価指標)	【KPIの考え方】 苦情件数を指標とすることで、環境の保全や改善の取組の進捗や、取組に対する市民の理解が進んでいることを測ることができます。	現状値 (R1)	実績値 (R2)	実績値 (R3)	実績値 (R4)	実績値 (R5)	目標値 (R5)
環境全般に関する苦情件数		12件	24件				10件
KPI (重要業績評価指標)	【KPIの考え方】 環境美化の取組によって、市民が「まちがきれいで気持ちがいい」と実感できることが重要です。地域の環境を守ろうという意識醸成にもつながります。	現状値 (R1)	実績値 (R2)	実績値 (R3)	実績値 (R4)	実績値 (R5)	目標値 (R5)
「環境美化の取組が進んでおり、まちがきれいで気持ちがいい」と答えた市民の割合		69.9%	67.0%				75.0%
【実施計画事業】		担当課	国土強靱化地域計画 [別冊]個別事業一覧 リスクシナリオ対応方策			総合戦略	
2(1)	環境学習事業	環境整備課				まち	
2(2)	環境監視指導事業	環境整備課	F-3①			まち	
3	環境衛生・美化推進事業 (環境衛生推進事業)	環境整備課				まち	
4	環境衛生・美化推進事業 (地域不法投棄対策事業)	環境整備課				まち	



実施計画事業 2(1)

事業名	環境学習事業		担当課	環境整備課		
根拠法令	環境教育等による環境保全の取組の促進に関する法律		関連計画	第2次大竹市環境基本計画		
取組の方針	<p>●市の環境の現状や、事業所の環境保全の取組を積極的に周知し、正しい理解を促します。</p> <p>●「第2次大竹市環境基本計画」に基づき、総合的・計画的な環境保全活動を進めます。</p>		概要	環境学習、環境教育を通じて、市民に市の自然の現状を把握してもらうことで、自然の大切さを理解してもらい、環境保全に関する意識を高め、市民と共に環境保全活動を行います。		
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	
事業費(千円)	75	5,630	5,630	5,630	5,130	
財源内訳	国県費	0	500	500	500	0
	地方債	0	0	0	0	0
	その他	0	5,000	5,000	5,000	5,000
	一般財源	75	130	130	130	130
【事業指標】 環境学習会の参加者数(延数)						
目標値		1,200人	400人	400人	400人	
実績値	0人					
取組内容	<p>新型コロナウイルス感染拡大防止のため上記を全て中止しました。</p>	<p>次のことを行います。</p> <p><input type="checkbox"/>海ごみ回収及び磯の生き物観察会</p> <p><input type="checkbox"/>水辺の生き物マップ</p> <p><input type="checkbox"/>「COOL CHOICE×SDGs」学習教材作成</p> <p><input type="checkbox"/>出前講座</p> <p><input type="checkbox"/>デジタル教材作成</p>	<p>次のことを行います。</p> <p><input type="checkbox"/>川の生き物観察会</p> <p><input type="checkbox"/>小瀬川干潟観察会</p> <p><input type="checkbox"/>小学校への出前講座など</p> <p><input type="checkbox"/>二酸化炭素排出抑制啓発事業「COOL CHOICE」</p> <p><input type="checkbox"/>出前講座</p>	<p>次のことを行います。</p> <p><input type="checkbox"/>川の生き物観察会</p> <p><input type="checkbox"/>小瀬川干潟観察会</p> <p><input type="checkbox"/>小学校への出前講座など</p> <p><input type="checkbox"/>二酸化炭素排出抑制啓発事業「COOL CHOICE」</p> <p><input type="checkbox"/>出前講座</p>	<p>次のことを行います。</p> <p><input type="checkbox"/>川の生き物観察会</p> <p><input type="checkbox"/>小瀬川干潟観察会</p> <p><input type="checkbox"/>小学校への出前講座など</p> <p><input type="checkbox"/>二酸化炭素排出抑制啓発事業「COOL CHOICE」</p> <p><input type="checkbox"/>出前講座</p>	



実施計画事業 2(2)

事業名	環境監視指導事業			担当課	環境整備課
根拠法令	環境基本法		関連計画	第2次大竹市環境基本計画	
取組の方針	市の環境の現状や、事業所の環境保全の取組を積極的に周知し、正しい理解を促します。		概要	市内の大気・水質・臭気・騒音・振動などを定期的に計測し、環境基準を満たしているかを監視し、指導を行います。	
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
事業費(千円)	7,312	12,197	12,410	12,197	12,197
財源内訳	国県費	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0
	一般財源	7,312	12,197	12,410	12,197
【事業指標】 温室効果ガス排出量(市の業務に関連した二酸化炭素などの排出量、工業用水の送水分を除く)					
目標値		5,228t	未定	未定	未定
実績値	3,502t				
取組内容	次のことを行いました。 <input type="checkbox"/> 太陽光発電などの再生可能エネルギーの積極的な導入 <input type="checkbox"/> 省エネ施設・省エネ設備などの改善 <input type="checkbox"/> グリーン購入の推進 <input type="checkbox"/> 電気使用量などの削減 <input type="checkbox"/> 水使用量の削減 <input type="checkbox"/> 公用車の使用(エコドライブ) <input type="checkbox"/> 省資源・リサイクル <input type="checkbox"/> 職員などを対象とした研修会の開催など	次のことを行います。 <input type="checkbox"/> 太陽光発電などの再生可能エネルギーの積極的な導入 <input type="checkbox"/> 施設・設備などの改善 <input type="checkbox"/> グリーン購入の推進 <input type="checkbox"/> 電気使用量などの削減 <input type="checkbox"/> 水使用量の削減 <input type="checkbox"/> 公用車の使用(エコドライブ) <input type="checkbox"/> 省資源・リサイクル <input type="checkbox"/> 職員などを対象とした研修会の開催など	次のことを行います。 <input type="checkbox"/> 太陽光発電などの再生可能エネルギーの積極的な導入 <input type="checkbox"/> 施設・設備などの改善 <input type="checkbox"/> グリーン購入の推進 <input type="checkbox"/> 電気使用量などの削減 <input type="checkbox"/> 水使用量の削減 <input type="checkbox"/> 公用車の使用(エコドライブ) <input type="checkbox"/> 省資源・リサイクル <input type="checkbox"/> 職員などを対象とした研修会の開催など <input type="checkbox"/> 第5次大竹市地球温暖化対策実行計画を作成します(予定) ※目標値は計画作成後入力	次のことを行います。 <input type="checkbox"/> 太陽光発電などの再生可能エネルギーの積極的な導入 <input type="checkbox"/> 施設・設備などの改善 <input type="checkbox"/> グリーン購入の推進 <input type="checkbox"/> 電気使用量などの削減 <input type="checkbox"/> 水使用量の削減 <input type="checkbox"/> 公用車の使用(エコドライブ) <input type="checkbox"/> 省資源・リサイクル <input type="checkbox"/> 職員などを対象とした研修会の開催など ※目標値は計画作成後入力	次のことを行います。 <input type="checkbox"/> 太陽光発電などの再生可能エネルギーの積極的な導入 <input type="checkbox"/> 施設・設備などの改善 <input type="checkbox"/> グリーン購入の推進 <input type="checkbox"/> 電気使用量などの削減 <input type="checkbox"/> 水使用量の削減 <input type="checkbox"/> 公用車の使用(エコドライブ) <input type="checkbox"/> 省資源・リサイクル <input type="checkbox"/> 職員などを対象とした研修会の開催など ※目標値は計画作成後入力



実施計画事業 3

事業名	環境衛生・美化推進事業 (環境衛生推進事業)			担当課	環境整備課
根拠法令	環境基本法		関連計画	第2次大竹市環境基本計画	
取組の方針	市民・環境美化関係団体に「花いっぱい運動」への参加を促します。		概要	○自治会や老人クラブなどの参加により、市内全域において清掃活動(おおたけクリーンキャンペーン)を行います。 ○市内の任意の団体を募り、花苗と肥料を無料配付し、沿道などの公共的な場所に市民花壇を設置する「花いっぱい運動」を行います。	
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
事業費(千円)	2,711	3,030	5,564	5,564	5,564
財源内訳	国県費	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0
	一般財源	2,711	3,030	5,564	5,564
【事業指標】 市民花壇の設置箇所数(市民や市民団体などが管理する花壇の数)(累計)					
目標値		55箇所	55箇所	55箇所	55箇所
実績値	52箇所				
取組内容	「花いっぱい運動」を実施しました。また、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、「おおたけクリーンキャンペーン」は、清掃活動の実施を希望する各自治会に実施しました。		「おおたけクリーンキャンペーン」及び「花いっぱい運動」を実施します。	「おおたけクリーンキャンペーン」及び「花いっぱい運動」を実施します。	「おおたけクリーンキャンペーン」及び「花いっぱい運動」を実施します。



実施計画事業 4

事業名	環境衛生・美化推進事業 (地域不法投棄対策事業)			担当課	環境整備課	
根拠法令	廃棄物の処理及び清掃に関する法律	関連計画	第2次大竹市環境基本計画			
取組の方針	<p>●市民・関係団体・事業者・市の協働により、不法投棄の防止や早期発見、早期対応などに取り組みます。</p> <p>●公衆衛生推進協議会などの環境美化・公衆衛生活動に取り組み団体や自治会などを支援します。</p>		概要	公衆衛生推進協議会と連携し、不法投棄監視パトロール及び不法投棄防止啓発看板・幟の設置・配付などを行います。		
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	
事業費(千円)	8,858	8,567	8,774	8,774	8,774	
財源内訳	国県費	5,479	5,790	4,881	4,881	4,881
	地方債	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0
	一般財源	3,379	2,777	3,893	3,893	3,893
【事業指標】年間不法投棄箇所数						
目標値		30箇所	30箇所以下	30箇所以下	30箇所以下	
実績値	31箇所					
取組内容	不法投棄監視パトロール及び啓発看板の設置などによる普及啓発活動を実施しました。	不法投棄監視パトロール及び啓発看板の設置などによる普及啓発活動を実施しました。	不法投棄監視パトロール及び啓発看板の設置などによる普及啓発活動を実施します。	不法投棄監視パトロール及び啓発看板の設置などによる普及啓発活動を実施します。	不法投棄監視パトロール及び啓発看板の設置などによる普及啓発活動を実施します。	

4年間で実現したい姿		植樹・育樹・緑化活動や森林の計画的な整備により、生物多様性や森林が持つ公益的機能が守られ、山地災害の未然防止が図られています。					
KPI (重要業績評価指標)	【KPIの考え方】 森林の公益的機能を回復させるためには、計画的な森林整備を進め、適切に管理することが重要です。	現状値 (R1)	実績値 (R2)	実績値 (R3)	実績値 (R4)	実績値 (R5)	目標値 (R5)
森林の間伐、枝打ち、皆伐等の施業面積		196.67ha	196.74ha				221.67ha
【実施計画事業】	担当課	国土強靱化地域計画 [別冊]個別事業一覧 リスクシナリオ対応方策				総合戦略	
5(1) ひろしまの森づくり事業	産業振興課	G-6①				まち	
5(2) 森林環境税関連森林整備事業	産業振興課	G-6①				まち	
6 治山事業	産業振興課	G-4③,G-6①				まち	



実施計画事業 5(1)

事業名	ひろしまの森づくり事業				担当課	産業振興課
根拠法令					関連計画	第3期ひろしまの森づくり事業に関する推進方針
取組の方針	<p>●森林や里山に関する情報発信やイベントの開催などを通じて、多くの人々が山や森づくりに関心を持つように働きかけます。</p> <p>●森林所有者に森林の公益的機能を十分に理解してもらい、森林を整備していきます。</p>				概要	県土の保全や水源かん養などの森林の有する公益的機能を持続的に発揮させるため、人工林や天然林整備のほか、森林に親しみをもってもらうような取組を行います。
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	
事業費(千円)	5,432	6,869	7,369	7,369	7,369	
財源内訳	国県費	5,432	6,869	7,369	7,369	7,369
	地方債	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0
	一般財源	0	0	0	0	0
【事業指標】 ひろしま森づくり事業で整備した面積(累計)						
目標値		99.46ha	101.46ha	103.46ha	105.46ha	
実績値	97.46ha					
取組内容	次のことを行いました。 <input type="checkbox"/> 里山林整備 <input type="checkbox"/> 人工林間伐支援	次のことを行います。 <input type="checkbox"/> 里山林整備 <input type="checkbox"/> 人工林間伐支援 <input type="checkbox"/> 林業体験活動支援	次のことを行います。 <input type="checkbox"/> 里山林整備 <input type="checkbox"/> 人工林間伐支援 <input type="checkbox"/> 林業体験活動支援	次のことを行います。 <input type="checkbox"/> 里山林整備 <input type="checkbox"/> 人工林間伐支援 <input type="checkbox"/> 林業体験活動支援	次のことを行います。 <input type="checkbox"/> 里山林整備 <input type="checkbox"/> 人工林間伐支援 <input type="checkbox"/> 林業体験活動支援	



実施計画事業 5(2)

事業名	森林環境税関連森林整備事業			担当課	産業振興課
根拠法令	森林経営管理法、森林環境税及び森林環境譲与税に関する法律		関連計画	新たな森林経営管理制度に関する取組の基本方針	
取組の方針	<p>●森林や里山に関する情報発信やイベントの開催などを通じて、多くの人が山や森づくりに関心を持つように働きかけます。</p> <p>●森林所有者に森林の公益的機能を十分に理解してもらい、森林を整備していきます。</p>		概要	森林経営管理法に基づき、人工林を適切に管理するため、人工林調査を行い、管理ができない所有者がいる場合は、市が所有者に代わって管理を行います。	
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
事業費(千円)	3,969	3,970	8,150	5,140	6,302
財源内訳	国県費	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0
	その他	1	2	5	5
	一般財源	3,968	3,968	8,145	5,135
【事業指標】 森林環境税関連森林整備事業で整備した面積(累計)					
目標値		0ha	1.7ha	2.7ha	3.7ha
実績値	0ha				
取組内容	次のことを行いました。 <input type="checkbox"/> 森林調査 <input type="checkbox"/> 意向調査	次のことを行います。 <input type="checkbox"/> 森林調査 <input type="checkbox"/> 意向調査	次のことを行います。 <input type="checkbox"/> 森林調査 <input type="checkbox"/> 意向調査 <input type="checkbox"/> 森林整備予定(大栗林地区)	次のことを行います。 <input type="checkbox"/> 森林調査 <input type="checkbox"/> 意向調査 <input type="checkbox"/> 森林整備	次のことを行います。 <input type="checkbox"/> 森林調査 <input type="checkbox"/> 意向調査 <input type="checkbox"/> 森林整備



実施計画事業 6

事業名	治山事業			担当課	産業振興課
根拠法令	森林法、地すべり等防止法		関連計画		
取組の方針	山地災害の未然防止のため、治山事業の実施を国や県に継続的に要望します。		概要	山地災害の未然防止を行うため、市内保安林のうち、市民からの要望箇所について、国や県に要望します。	
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
事業費(千円)	0	0	0	0	0
財源内訳	国県費	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0
	一般財源	0	0	0	0
【事業指標】 治山事業で整備した面積					
目標値		22.42ha	24.42ha	24.42ha	24.42ha
実績値	0.07ha				
取組内容	次のことを行いました。 <input type="checkbox"/> 国や県に要望	次のことを行います。 <input type="checkbox"/> 国や県に要望	次のことを行います。 <input type="checkbox"/> 国や県に要望	次のことを行います。 <input type="checkbox"/> 国や県に要望	次のことを行います。 <input type="checkbox"/> 国や県に要望

【3-9 生活環境に配慮した墓地の管理】

関連するSDGs17の目標

<p>4年間で実現したい姿</p>	<p>周辺環境に配慮した、適切な市営墓地の管理が行われています。</p>						
<p>KPI (重要業績評価指標)</p>	<p>【KPIの考え方】 墓地の管理が適切に行われると、誰もが気持ちよく利用することができます。</p>	<p>現状値 (R1)</p>	<p>実績値 (R2)</p>	<p>実績値 (R3)</p>	<p>実績値 (R4)</p>	<p>実績値 (R5)</p>	<p>目標値 (R5)</p>
<p>管理が適切でない墓地区画数</p>		<p>0区画</p>	<p>0区画</p>				<p>0区画</p>
<p>【実施計画事業】</p>		<p>担当課</p>		<p>国土強靱化地域計画 [別冊]個別事業一覧 リスクシナリオ対応方策</p>			<p>総合戦略</p>
<p>1</p>	<p>市営墓地維持管理事業</p>	<p>環境整備課</p>		<p>A-1②,B-4①,C-2①</p>			



実施計画事業 I

事業名	市営墓地維持管理事業				担当課	環境整備課
根拠法令					関連計画	
取組の方針	<ul style="list-style-type: none"> ●旧白石墓地からの白石墓苑への墓石移転完了後、空き区画を一般分譲します。 ●適切な管理が行われていない区画の利用者への指導などを含め、墓苑全体を適切に維持管理します。 				概要	市内に5箇所ある市営墓地使用者が不明とならないよう、また、墓地使用者間で苦情が出ないように適切に管理します。
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	
事業費(千円)	523	3,033	4,763	3,033	3,033	
財源内訳	国県費	0	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0
	一般財源	523	3,033	4,763	3,033	3,033
【事業指標】 永代使用率(区画充足率)						
目標値		100%	100%	100%	100%	
実績値	89.5%					
取組内容	<input type="checkbox"/> 市営墓地の維持管理を適切に行いました。 <input type="checkbox"/> 利用者に墓地の適切な管理を促しました。 <input type="checkbox"/> 既存墓地の所在、管理の運営形態などについて、台帳の整理を行いました。	<input type="checkbox"/> 市営墓地の維持管理を適切に行いました。 <input type="checkbox"/> 利用者に墓地の適切な管理を促しました。 <input type="checkbox"/> 未売の墓地の永代使用料を見直します。	<input type="checkbox"/> 市営墓地の維持管理を適切に行います。 <input type="checkbox"/> 利用者に墓地の適切な管理を促します。 <input type="checkbox"/> 白石墓苑の空区画を整備し、売却する予定です。	<input type="checkbox"/> 市営墓地の維持管理を適切に行います。 <input type="checkbox"/> 利用者に墓地の適切な管理を促します。 <input type="checkbox"/> 白石墓苑の空区画を整備し、売却する予定です。	<input type="checkbox"/> 市営墓地の維持管理を適切に行います。 <input type="checkbox"/> 利用者に墓地の適切な管理を促します。 <input type="checkbox"/> 白石墓苑の空区画を整備し、売却する予定です。	

3_生活・環境

■「生活・環境」に関するSDGs指標一覧

施策	SDGs指標		実績値	データ時点 データ元
施策3-1 快適で魅力的な 都市空間の創造		1年間の人口増減(((出生数－ 死亡数)+(転入数－転出 数)+(その他増－その他減))/ 総人口)	△0.62%	令和3年1月1日 「住民基本台帳に基づく人口、人口 動態及び世帯数」
		市街化調整区域内人口割合(市 街化調整区域内人口/総人口)	1%	令和2年3月31日 「都市計画現況調査」
施策3-3 生活を支える公 共交通の充実		最寄りの交通機関までの距離が ○m以下となる普通世帯数 (駅まで200m以内)	130世帯	平成30年10月1日 「住宅・土地統計調査」
		(駅まで200～500m以内)	1,340世帯	
		(駅まで500～1,000m以内)	2,420世帯	
		(駅まで1,000～2,000m以内)	4,770世帯	
		(駅まで2,000m以上)	2,660世帯	
施策3-5 住みよさと安心 を生む住宅政策		最低居住面積水準以下世帯割合 (最低居住面積水準以下世帯数/ 主世帯数)	92.7%	平成30年10月1日 「住宅・土地統計調査」
		空き家率(空き家数/総住宅数)	17.4%	平成30年10月1日 「住宅・土地統計調査」
施策3-6 楽しさと憩いを 提供する公園・ 緑地の整備		人口1人当たりの公園面積(公 園面積/総人口)	11.0㎡	令和2年10月1日 「公共施設状況調経年比較表」/「国勢 調査」
施策3-7 暮らしを支える 上下水道の整備		上水道普及率(上水道給水人口 /総人口)	98.3%	令和2年4月1日～令和3年3月31日 「水道の基本統計」
		下水道処理人口普及率	95.5%	令和3年3月31日 「下水道の普及状況」
施策3-8 環境にやさしい 持続可能なまち づくり		「家庭ごみの排出量(1人1日あ たり)」	603g/人日	令和2年4月1日～令和3年3月31日 「清掃事業の概要(令和3年度版)」
		廃棄物の最終処分割合(最終処 分量/ごみの総排出量)	9.0%	令和2年4月1日～令和3年3月31日 「清掃事業の概要(令和3年度版)」
		ごみのリサイクル率	21.2%	令和2年4月1日～令和3年3月31日 「清掃事業の概要(令和3年度版)」
		市の業務における温室効果ガ ス排出量	3,502t	令和2年4月1日～令和3年3月31日
		森林面積割合(森林面積/総面 積)	27.0%	令和3年1月1日 「固定資産税概要調書」